

コパキソン®皮下注20mgシリンジ 自己注射ガイド (自己注射指導者向け)

監修 中原 仁 先生
慶應義塾大学医学部 神経内科 教授

医薬品リスク管理計画
(RMP)

※本資料は医薬品リスク管理計画に基づき作成された資料です

準備するもの 自己注射の際には以下のものが必要になります。

コパキソン®皮下注20mgシリンジ
室温に戻してから注射します。



シーシーク®(CSYNC™)* *以降は『シーシーク®(CSYNC™)』を『シーシーク®』と称します。
コパキソンを注入するための補助器です。



シーシーク®の詳細は、自己注射ガイドブックをご参照ください。

消毒用アルコール綿
注射部位を消毒します。



※こちらは一例です。

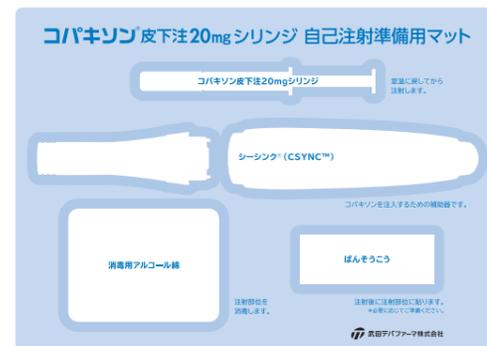
ばんそうこう
注射後に注射部位に貼ります。



※必要に応じて準備します。

**コパキソン®皮下注20mgシリンジ
自己注射準備用マット**

自己注射に必要なものを配置するマットです。



廃棄ボックス

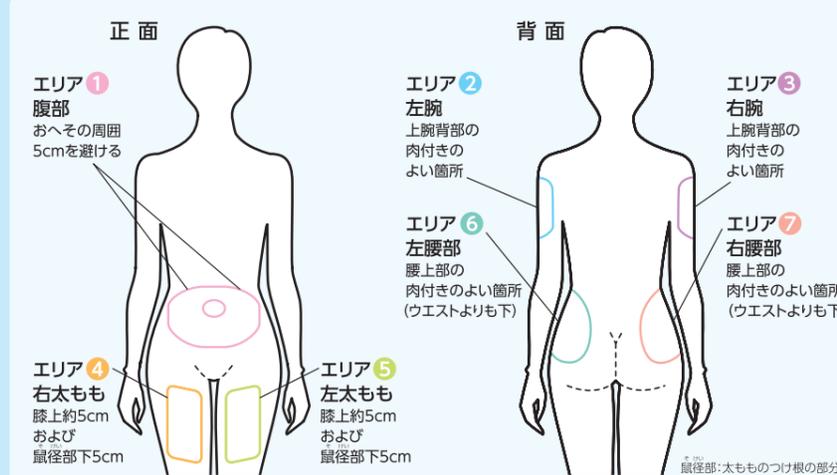
使用済みのシリンジ、
ニードルキャップを廃棄します。



自己注射ローテーションについて

注射部位が赤くなったり、痛みが生じたり、かゆくなる、はれる、しこりができるなどの症状を減らすために、自己注射の部位をローテーションするようにご指導ください。

- 原則として、注射部位のエリア(1~7)を毎日変えながら注射します。
- 患者さんご自身で注射ができない部位は、指導を受けたご家族が注射することも可能です。
- 注射した部位は忘れないようにコパキソン患者手帳に記入するようにご指導ください。



事前チェック

- シリンジは冷蔵庫から出して、室温に戻してありますか?
- シリンジは有効期限内のものが用意されていますか?
- 手はよく洗いましたか?
- シーシーク®は正常に動きますか?
- シリンジを確認した際に、異物等の混入はありませんでしたか?
- 前回と違う注射部位を選んでいますか?

自己注射の準備をする



- 1 箱から一回分のシリンジをプリスター(パック包装)ごと取り出し、室温に戻すためそのまま20分程度放置します。使わないシリンジは速やかに冷蔵庫に戻します。

シリンジを取り出した際に、注射液の量や異物の有無を確認します。量が少なかったり、異物が認められるようであれば、そのシリンジは使用しないでください。



- 2 セッケんで両手をよく洗います。

手を洗う際は、指と指の間や爪などてもいねいに洗います。



- 3 注射に必要なものを準備用マットの上に置きます。
 - ・室温に戻したシリンジ (プリスター(パック包装)から取り出しておく)
 - ・専用ポーチから取り出したシーシーク®
 - ・消毒用アルコール綿 (必要に応じてばんそうこう)
 - ・廃棄ボックス



- 4 赤いニードルキャップリムーバーをしっかりつかみ、シリンジホルダーから引き抜いて外します。外したニードルキャップリムーバーは後から使用するため、近くに置いておきます。



- 5 グレーのインジェクションデプスアジャスター部分を回し、刺入深度を設定します。主治医に指示された刺入深度を、デプスセッティングウィンドウに表示させてから、ニードルキャップリムーバーを取り付けます。
※適切な刺入深度は医師に相談してください。

刺入深度が6mmの場合は、デプスセッティングウィンドウに印字してある目盛を6の位置に合わせます。

国内治験時は刺入深度を6mmを基本とし、医師の助言に基づき調節されました。



自己注射の準備をする

コパキソンを注射する

後片付けをする



- 6** 取り外したシリンジホルダーの向きを反対にして、ハンドル開口部に押し込みます。
カチッと音がしたらロック完了です。インジケータウィンドウの色が赤から白へと変わったら、シリンジホルダーをハンドルから引き抜きます。

インジケータウィンドウの色が赤になったままの場合は、⑥の手順を再度確認してください。



- 7** 硬くて平らな面に、シリンジホルダーを置き、シリンジをそれ以上奥へ進まなくなるまで、ホルダー内へ押し込みます。
これでシリンジが正しくセットされました。

赤いニードルキャップリムーバーは、この段階では絶対に取り外さないでください。



- 8** カチッと音が聞こえて、両側の白い矢印(ホワイトアロウ)の位置が揃うように、シリンジホルダーとハンドルを回して取り付けます。



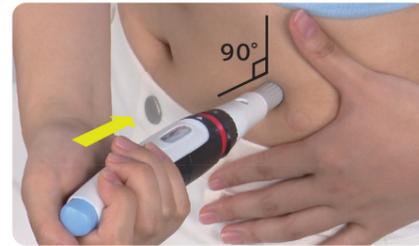
- 9** 赤いニードルキャップリムーバーをしっかりとつかみ、本体からまっすぐ引き抜いてニードルキャップを外します。

これで自己注射の準備は完了です。

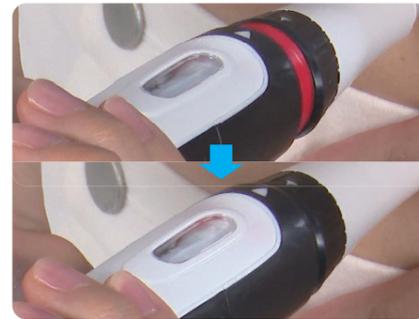
※ニードルキャップリムーバーを取り外した後に薬液のしずくがみられることがありますが、問題ありません。



- 1** 消毒用アルコール綿等で注射部位を消毒し、よく乾かします。



- 2** インジケータウィンドウが自分から見えるように持ち、皮膚に対して垂直にシーシク®の先端を押し当てます。



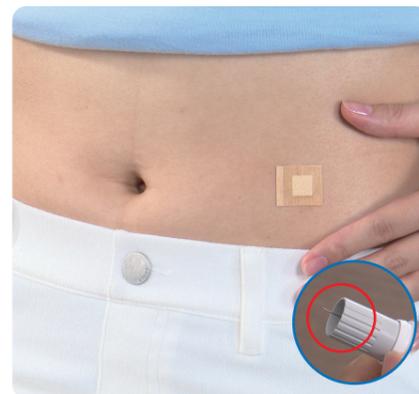
- 3** セーフティロックの赤ベルト部分が見えている状態ではインジェクションボタンを押すことができません。(ロック未解除)

赤ベルト部分が隠れ、両側の白い矢印(ホワイトアロウ)が接する位置までハンドルを押し下げます。(ロック解除)



- 4** インジケータウィンドウを確認しながら、インジェクションボタンを押し込み、注入を開始します。
注入が完了するまで、シーシク®を皮膚に押し当てたままにしてください。**10秒ほど経ってインジケータウィンドウのレッドマークが表示されたら、注入完了です。**

注射液の液漏れを防ぐため、レッドマークが表示されてからシーシク®を離します。



- 5** シーシク®を皮膚から離し、必要に応じて注射部位にばんそうこうを貼ります。注射部位はもんだり、こすらないようにします。

注入後は針先が飛び出した状態のため、皮膚から離してからは、シーシク®の取り扱いに注意してください。



- 1** 露出している注射針が下を向くようにしてシリンジホルダーをつかみ、ねじがゆるむ方向に、ハンドルを回して取り外します。



- 2** ゆっくりとシリンジホルダーを傾け、シリンジを廃棄ボックス内に入れて廃棄します。

使用したシリンジは再利用しないでください。

シリンジを捨てる際、外したニードルキャップを再び装着しないようにしてください。

廃棄ボックスは、小児等の手の届かない場所に保管し、いっぱいになったら、かかりつけの医療機関または薬局にお持ちください。

赤いニードルキャップリムーバーは廃棄しないでください。



- 3** シーシク®は清潔な湿った布等で拭いた後、専用のポーチに入れ、保管してください。

故障の原因となるため、シーシク®は水に濡らさないでください。また、冷蔵庫では保管しないでください。

すべて終わったら、注射部位を「コパキソン患者手帳」に記録します。

「注射直後反応」「過敏性反応」「注射部位反応」以外にも、注射後に気になることがあればすぐに主治医やスタッフに相談するようにご指導ください。

習熟度チェック

- シーシク®にシリンジは正しくセットできましたか？
- ニードルキャップはきちんと外れましたか？
- 注射部位を消毒した後、十分に乾かしましたか？
- シーシク®による注入はうまくできましたか？
- シリンジは適切に廃棄できましたか？
- 患者手帳に注射部位を記録しましたか？